

梅雨^{つゆ}が明^あけたわけでもないのに、暑い^{あつひ}日^{つづ}が続^{つづ}いています。
外^{そと}で遊ぶ^{あそ}のが危険^{きけん}な日^ひには、エアコン^{えあ}が効^きいた部屋^{へや}で、
読書^{どくしょ}にいそしむのもいいのではないでしようか。

季節^{きせつ}に合^あわせて



「ウエズレーの国」
ポール・フライシュマン：作
ケビン・ホークス：絵
あすなろ書房 E/フ

ウエズレーは、ちょっと変わった男^{おとこ}の子^こ。そのせいで、友だち^{とも}はいません。

夏休み^{なつやす}の宿題^{しゅくだい}に出^だされた自由研究^{じゆうけんきゆう}で、ウエズレーは「じぶんだけの文明^{ぶんめい}」をつくることにします。じぶんだけの作物^{さくもつ}を育て、服^{ふく}を作り、遊び^{あそ}をつくって。そんなウエズレーの様子^{ようす}を見た近所^{きんじよ}の子たち^こは、気^きになってしかたありません。

さあ、夏休み^{なつやす}明け^あには、いったいどうなっているでしよう。



『忘れないでください』
小林 新子 随想舎 21/コ
1945年7月12日、午後
11時過ぎにB29の編隊^{へんたい}による空襲^{くうしゅう}が始まりました。
使用^{しよう}された爆弾^{ばくだん}はE46集束
焼夷弾^{しょういだん}10,500発、M47焼夷弾^{しょういだん}2,204
発であり、計802.9tにもなります。

当時の宇都宮市^{うつのみやし}の65%が被災^{ひさい}し、死者^{ししや}628名、負傷者^{めいふしやうしやく}約1,150名、焼失戸数^{しょうしつこすう}9,490戸といわれています。

忘れないために、私^{わたし}たちに何^{なに}ができるでしようか。

5日には、この空襲^{くうしゅう}でも生き残^{いきのこ}った大イチョウ^{おおいちよう}をモチーフ^{もていふ}にした宮っ子^{みやこ}ランチがでます。

ブックトークをしています♪

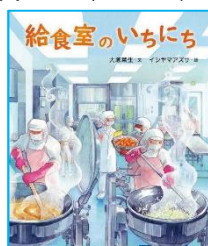
ぜんクラスで夏休み^{なつやす}の読書感想文課題図書^{どくしょかんそうぶんかだいとしよ}のブックトークをしています。どのクラスでも、子どもたちは興味^{きようみ}をもって話^{はなし}を聞いてくれています。

ブックトークの後^{あと}には、紹介^{しょうかい}した本^{ほん}に興味^{きようみ}をもってくれる子^こも多くいました。

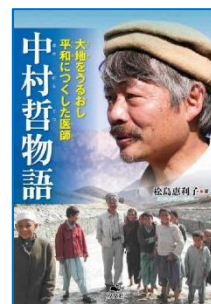
低中^{ていちゅうこうがくねん}高学年^{さつ}で4冊^{かだいとしよ}ずつある課題図書^{さつ}から、1冊^{しょうかい}ずつ紹介^{しょうかい}します。



『うまれてくるよ 海のなか』
かんちくたかこ：文 高久至：写真
アリス館 E/タ



『給食室のいちにち』
おつかな おぶん
大塚菜生：文 イシヤマアズサ：絵
少年写真新聞社 E/オ



『中村哲物語』
大地^{ちがひ}をうるおし平和^{へいわ}につくした医師^{いし}
まつしま えりこ ちよ
松島恵利子：著
汐文社 913/ク

たなばた

七夕あれこれ

日本の七夕祭りは、中国の美しい伝説と日本の古い行事が結びついてできました。

7月7日の夜、橋を渡って出会う織姫と彦星の伝説を知っていますか？

この織姫は機織りの名人だったので、中国には女性の裁縫や芸事の上達を願う行事

《乞巧奠》（きっこうでん）がありました。日本にも奈良時代に伝えられました。

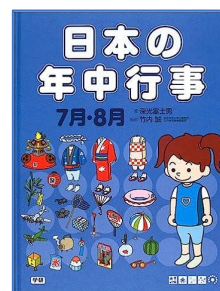
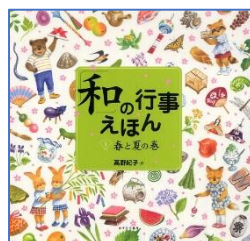
「乞巧」は上達を願うこと。「奠」は「まつる」という意味です。

江戸時代に自分の願いを短冊に書いてつるすようになり、

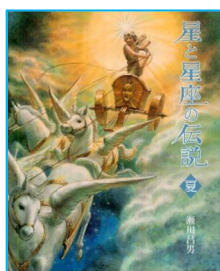
だんだん今の形になってきました。

『「和」の行事えほん①春と夏の巻』高野紀子 38/タ

『日本の年中行事 7・8月』深光富士男 38/フ



こちらの本にも、七夕に関することが載っています。



『星と星座の伝説 夏』
瀬川昌男 小峰書店
44/セ/2



『つくろう！食べよう！行事食②
花見からお盆』坂本廣子
少年写真新聞社 596/サ/2

夏休みの開館日

7/25 (火) ~ 7/28 (金)

9:00~12:00

天候や都合により、休館になることがあります。
ご了承ください。

